第9回 あおによし音楽コンクール

Aoniyoshi Music Competition Nara

公式キャラクター「𝄞とおんちゃん」

【エントリー受付期間】

2022年4月1日（金）～6月30日（木）（消印有効）

【 プロフェッショナルステージ 】

プロの演奏家を志す若手対象

【ピアノ・ヴァイオリン】1992年1月1日以降に出生した者

【声楽】大学生／大学卒業～1987年1月1日以降に出生した者

新型コロナウイルスに関する政府による最新情報を鑑み変更・中止の場合あり

【アドヴァイザー】篠崎 史紀（NHK交響楽団第1コンサートマスター）

【審査委員長】（敬称略）
- 統括審査委員長：渡辺 健二（東京藝術大学名誉教授）
- ピアノ部門審査委員長：渡辺 健二（東京藝術大学名誉教授）
- 弦楽器部門審査委員長：漆原 啓子（桐朋学園大学特任教授）
- 声楽部門審査委員長：浜田 理恵（声楽家）
- 管楽器部門審査委員長：日髙 剛（日本センチュリー交響楽団首席客演奏者）

2022年【予選】
- 8月10日㈬ 東京予選（かつしかシンフォニーヒルズアイリスホール）
- 8月14日㈰ 兵庫予選（うはらホール）
- 8月17日㈬ 愛知予選（熱田文化小劇場）
- 8月18日㈭ 大阪予選（豊中市立文化芸術センター小ホール）
- 8月21日㈰ 奈良予選（いかるがホール小ホール）
- 9月 3日㈯ 京都予選（京都コンサートホールムラタ）
- 9月10日㈯ 広島予選（ゲバントホール）

【本選】
- 11月12日㈯ 本選（いかるがホール）声楽 大ホール
- 11月13日㈰ 本選（いかるがホール）ヴァイオリン 大ホール
- 11月27日㈰ 本選（いかるがホール）ピアノ 大ホール

［お問い合わせ］一般社団法人 あおによし音楽コンクール 奈良事務局

《奈良事務局》〒636-0153 奈良県生駒郡斑鳩町龍田南3-3-38竜田郵便局留め
（※お問い合わせ・申込その他郵便物は、奈良事務局までお願い致します）

《東京事務局》〒113-0033 東京都文京区本郷4丁目14-10プライムメゾン本郷1103号室

Tel：0745-47-1069・080-9129-9265　Mail： info@aoniyoshimc.com

Web： http://aoniyoshimc.com　www.facebook.com/aoniyoshimc

ホームページ　フェイスブック　Instagram

twitter　ブログ

ISTITUTO italiano DI CULTURA OSAKA

文化のふるさと 奈良から音楽の輪が広がりますよう、心よりお待ち申し上げます。

〈特別協力〉

名古屋 宗次ホール

学校法人塚本学院（大阪芸術大学）　小波津式神経筋無痛療法研究会
水野 勝成　Genova international music youth festival

〈協賛〉

カゴヤ・ジャパン株式会社
株式会社桶谷ホールディングス
奈良スバル自動車株式会社
大和大学
豫州短板産業株式会社

斑鳩町指定給水装置工事事業者組合 / 斑鳩町排水設備指定工事事業者組合 / 器まつもり
奥谷歯科医院 / 学校法人誠華学園 / 株式会社イカリトンボ
株式会社エヌ･アイ･プランニング / 株式会社キタイ / 株式会社天理楽器
株式会社奈良自動車学校 / 株式会社ハンナ / 株式会社ミュージックプラザ
株式会社モンベル / 株式会社ユーロクラシクス / 岸野弦楽器工房 / クロサワバイオリン大阪梅田店
島村楽器株式会社 / 田村歯科クリニック / ティアイメディカル株式会社
特定非営利活動法人まほろば円舞会 / 奈良中央信用金庫 / 奈良まほろば法律事務所
ニシキ醤油株式会社 / フジエダ珈琲株式会社 / 古川皓一バイオリン工房
輪和建設株式会社 / 和CAFE 布穀薗 / 金子匡視
香芝学術研究所（美術大学受験予備校） / 株式会社末吉楽器店 / カワイ梅田 / 竹村秀一
ほか匿名

〈協力〉

公益財団法人NHK交響楽団 / 公益財団法人日本センチュリー交響楽団
日本木管コンクール / 楽興の時～室内楽セミナー&演奏会～

〈後援〉

総務省 / 文化庁 / 奈良県 /大阪府 / 京都府 / 兵庫県
奈良県市長会 / 奈良市 / 奈良県町村会 / 斑鳩町
大阪市 / 京都市 / 神戸市 / 葛飾区 / 名古屋市
奈良県教育委員会 / 奈良市教育委員会 / 斑鳩町教育委員会
京都府教育委員会 / 京都市教育委員会 / 兵庫県教育委員会 / 神戸市教育委員会
葛飾区教育委員会 / 愛知県教育委員会 / 名古屋市教育委員会
一般財団法人奈良県ビジターズビューロー / 奈良県商工会連合会 / 公益社団法人奈良市観光協会
公益財団法人斑鳩町文化振興財団 / 一般社団法人斑鳩町観光協会 / 斑鳩町商工会
特定非営利活動法人関西芸術振興会・関西歌劇団 / 公益社団法人関西二期会
一般社団法人日本弦楽指導者協会 / 公益社団法人全国重度障害者雇用事業所協会
イタリア文化会館-大阪 / 奈良新聞社 / 関西音楽新聞 / 産経新聞社
読売新聞奈良支局 / 毎日新聞奈良支局 / 朝日新聞奈良総局
TVN奈良テレビ放送 / NHK奈良放送局 / ならどっとFM

Aoniyoshi
Music
Competition
Nara

ごあいさつ

文化遺産古都奈良斑鳩の地に、2013年アマチュア音楽愛好家も楽しめるコンクールをとの思いから、アマチュアファゴット奏者の医師、杉原恒臣氏(現相談役)と共に、「いかるが音楽コンクール」を設立致しました。2022年皆様のあたたかいご支援とご鞭撻のお蔭で第9回を迎えることが出来ましたことを厚く御礼申し上げます。

弊コンクールは関西をはじめ全国よりこれまで幼稚園児から80代の幅広い音楽愛好家の皆様にご参加頂いております。毎年素晴らしい出会いがあり斑鳩から音楽の輪が広がっているのを実感し嬉しく存じます。皆様の情熱溢れる音楽を拝聴させて頂き、そのお姿に大変感銘を覚えます。「音楽はすべての境界を超え人と人の心を結び世界平和に貢献するもの」という信念のもと、活動させて頂いております。弊コンクールは皆様に開かれたコンクールです。プロの演奏家を志す方、生涯音楽を友とされ、愛する音楽と向き合われている皆様の少しでもお役に立ちたい、そんな思いで微力ながら日々運営にあたっております。弊コンクールでは音楽を愛するお一人お一人のお気持ちを大切にして参りたいと考えます。

開催につきましては、政府の最新情報を鑑み、人命安全第一に臨機応変に対応して参ります。皆様の目標となる舞台づくりのため、開催に向け頑張って参ります。

シルクロード終着地奈良・関西から世界へ、音楽の輪が広がりますように、2022年世界文化遺産奈良で皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

一般社団法人あおによし音楽コンクール 奈良
代表理事　奥谷 友子

- Profile -

斑鳩生まれ。5歳よりピアノを始める。同志社大学商学部卒業同大学院商学研究科修了。
17年のブランク後 子育ての傍らピアノを再開し、初めてコンクールに挑戦。第12回、第13回大阪国際音楽コンクールアマチュアヴィルトーゾ部門ファイナリスト。第5回ベーテンピアノコンクール全国大会B1部門第5位。長江杯国際音楽コンクールにて受賞ほか。ウィーン国立音楽大学教授トーマス・クロイツベルガー氏マスタークラス受講。奥田悠氏、北村美奈子氏に師事。

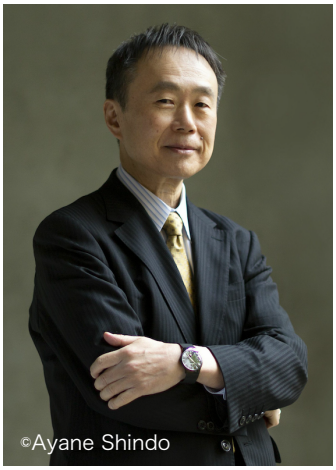
アドヴァイザー　篠崎 史紀　NHK交響楽団第1コンサートマスター

音楽は万人のためのものであり、偉大な作曲家のもとではプロフェッショナルもアマチュアも全て平等です。必要なものはテクニックよりも心で、作曲家と真剣に向き合うことがまず大切です。そして望めば叶うのが音楽なのです！
音楽は決して上手い下手ではなく、気持ちの伝導で良い音楽かどうかが決まります。
私はコンクールで出た結果は全ての副産物であって優劣ではないと思っております。
音楽こそ、人類が創造した最高のコミュニケーションツール！！！
言語も人種も宗教もゼネレーションも、そして時空をも超えて、世界中に一瞬にして喜怒哀楽を共有できる素敵なコミュニケーションツール。
演奏する喜びを目いっぱい味わってください！！！

- Profile -

北九州市出身。NHK交響楽団コンサートマスター。愛称 "まろ"。３歳より父篠崎永育、母美樹の手ほどきを受け、1981年ウィーン市立音楽院に入学。翌年コンツェルト・ハウスでコンサート・デビューを飾る。その演奏は、「信頼性のあるテクニック、遊び心もある音楽性」（ヴィーナーツァイトゥング紙)、「真珠を転がすような丸く鮮やかな音色、魅惑的な音楽性」（フォルクスシュティンメ紙）と各メディア紙から称賛される。完璧なテクニックとパッション溢れる美音は他の追随を許さない。その後ヨーロッパの主要なコンクールで数々の受賞を果たしヨーロッパを中心にソロ、室内楽と幅広く活動。88年帰国後、群馬交響楽団、読売日本交響楽団のコンサートマスターを経て、97年NHK交響楽団のコンサートマスターに就任。以来"N響の顔"として国内外で活躍する。ヨーロッパ公演では、「コンサートマスターの篠崎は言葉にならないくらい神がかっていた（イギリス紙）」「兵站学と調教が芸術へと進化し、コンサートマスターの篠崎「マロ」史紀のカリスマ的な姿は、銀白の鎧をまとった戦士のようでもあり、全てを統括していた（イギリス紙のThe Classical Source)」と評される。演奏会やオーケストラの企画も自ら行い、2004年よりスタートした銀座・王子ホールと、"まろ"プロデュースによる共同企画『MAROワールド』は、チケットが発売初日に数十分で完売という人気シリーズである。毎回一人の作曲家を取り上げて行われるこのシリーズから弦楽合奏団「マロカンパニー」が結成され、指揮者無しの大型室内楽「マロオケ(Meister Art Romantker Orchester)」にまで発展している。これらの功績により、「 2020 年度第 33 回ミュージック・ペンクラブ音楽賞」にて『MARO ワールド』がクラシック室内楽・合唱部門賞を受賞。その他、79年史上最年少で北九州市民文化賞、2001年福岡県文化賞、2014年第34回NHK交響楽団「有馬賞」受賞。メディアでも幅広く活躍しており、NHK Eテレ『学校で教えてくれないクラシック』、『クラシック音楽館』の案内人、SWITCHインタビュー達人達「篠崎史紀×菊野昌宏」に出演。現在、NHKラジオ番組『MAROのSP日記』(年2回放送)では、巧みなトークでファンを魅了している。活動の場は執筆まで及び、近年では『音楽の友』MAROの誌上名曲喫茶「まろ亭」を連載していた。著書に、『ルフトパウゼ―ウィーンの風に吹かれて』(出版館ブック・クラブ出版)、『篠崎史紀 ヴァイオリン選曲集 Maro's Palette』(ヤマハミュージックエンタテイメントホールディングス出版)、『篠崎史紀のヴァイオリン上達練習法 パンドラの箱』、『絶対! うまくなる バイオリン 100のコツ』(ヤマハミュージックエンタテイメントホールディングス出版)、『MAROの“偏愛"名曲案内 ~フォースと共に』（音楽之友社出版）などがある。後進の育成にも力を注ぎ、『楽興の時～室内楽セミナー&演奏会～』では指導及び共演を行っている。2019年ヴァイオリニストとしては日本人として初めてリスト音楽院より招聘されマスタークラスの指導を行う。北九州文化大使、昭和音楽大学客員教授、桐朋学園大学非常勤講師。WHO国際医学アカデミー・ライフハーモニーサイエンス評議会議員。使用楽器は1735年製ストラディバリウス（株)ミュージック・プラザ　より貸与。
公式ホームページhttps://maro.shinozaki-vn.com/jpprofile.html　公式Facebookページ　https://www.facebook.com/maro118/

統括審査委員長　渡辺 健二　東京藝術大学名誉教授



新型コロナウィルス感染が続き、一昨年は中止、昨年も対面は本選のみだった「あおによし音楽コンクール奈良」ですが、2022年度はやむを得ない事情の無い限り審査は対面で行うこととなりました。
インターネットや録音も音楽の魅力を伝えてくれますが、やはり生の演奏は格別の感動をもたらすものです。会場で、自分の手で、自分の声で、音楽を伝えられる喜びを胸に抱き、皆さんの想いを聴いている人達にぶつけて頂きたいと思います。
芸術は、人の内面を豊かにするもの。
人との比較ではなく、自分の心を育てていくことに一番の意義があります。
一人一人が感じ取った音楽の素晴らしさを、是非、他の人と分かち合って頂きたいと思います。皆さんの演奏を聴かせて頂く事を心待ちにしています。

- Profile -

1954年生まれ。名古屋市立菊里高校音楽課程卒業後、東京藝術大学、同大学院修了。第43回日本音楽コンクール第1位。78年～83年ハンガリー、リスト音楽院に留学。その間、ミュンヘン国際コンクール、第1回日本国際音楽コンクール、リスト・バルトーク国際コンクールに入賞。日本を代表するリスト及びバルトークのスペシャリストとして、演奏、音楽雑誌への寄稿、講座、コンクール審査等を行っている。2005年よりリストピアノ作品シリーズ(原典版。野本由紀夫氏校訂・渡辺健二運指及び演奏への助言。全音楽譜出版)を刊行中である。ハンガリーの音楽文化の紹介と日本とハンガリーの文化交流に努めた功績により86年にリスト記念メダル、2018年にはハンガリー国功労勲章オフィサー十字型勲章を受章。92年「空の日」芸術賞（日本航空協会）。（財）カワイサウンド技術・音楽振興財団理事、日本ピアノ教育連盟副会長・常務理事、日本ソルフェージュ研究協議会会長、日本音楽芸術マネジメント学会副理事長。河合楽器製作所技術顧問。2006年リスト・バルトーク国際ピアノコンクール審査員、2019年バルトーク国際音楽コンクール審査委員長。2021年3月東京藝術大学退職。藝大ジュニア・アカデミーで指導に当たっている。北海道大学非常勤講師、東京藝術大学名誉教授。

コンクールの趣旨

世界文化遺産奈良に、著名な音楽家を招聘し、関西の音楽振興に貢献するとともに、素晴らしい作曲家の遺した文化遺産『クラシック音楽』を心から敬い、全ての音楽愛好家が音楽を生涯の友とし、アマチュアもプロフェッショナルも音楽を通しあらゆる境界を超え音楽を共有し、心の交流を深めることを目的としています。

コンクール意義

コンクールとは、音楽を愛する方々が集い、日々の鍛錬・研鑽の成果を発表し、他の出場者の演奏からアイディアを吸収し、仲間を増やして行く場所です。目標は日々のモチベーションを高めるためには不可欠です。アマチュアとプロフェッショナルは、それぞれ音楽を楽しみとするか、仕事とするかで音楽へアプローチするプロセスが異なります。それぞれの部門において音楽を探究頂きその先で全ての音楽愛好家が境界を超え、審査結果に留まることなくコンクールを通じて何かを得てそれを是非とも皆様で共有して頂きたいと願っております。アマチュアもプロフェッショナルも互いに励まし合い、当コンクールから羽ばたく仲間を皆で応援して参りましょう！

第9回コンクール日程・場所

【日程・場所】			申込締切（消印有効）	結果発表（予定）
【予選】	8月10日(水)	東京予選（かつしかシンフォニーヒルズアイリスホール） （東京都葛飾区立石6丁目33－1）	2022年 6月30日(木)	即日発表 または郵送 (新型コロナ及び応募状況による)
	8月14日(日)	兵庫予選（神戸市立東灘区文化センター うはらホール） （兵庫県神戸市東灘区住吉東町5丁目1－16）		
	8月17日(水)	愛知予選（熱田文化小劇場） （愛知県名古屋市熱田区神宮3丁目1－15）		
	8月18日(木)	大阪予選（豊中市立文化芸術センター 小ホール） （大阪府豊中市曽根東町3丁目7－2）		
	8月21日(日)	奈良予選（いかるがホール小ホール） （奈良県生駒郡斑鳩町興留10丁目6番43号）		
	9月 3日(土)	京都予選（京都コンサートホールムラタ） （京都府京都市左京区下鴨半木町1－26）		
	9月10日(土)	広島予選（ゲバントホール） （広島県広島市中区本川町2丁目1－13 和光パレス21 5階）		
【本選】	11月12日(土)	声　　楽（いかるがホール大ホール） （奈良県生駒郡斑鳩町興留10丁目6番43号）	指定する 締切日	•各順位は即日 •一部の特別賞は年内
	11月13日(日)	ヴァイオリン（いかるがホール大ホール） （奈良県生駒郡斑鳩町興留10丁目6番43号）		
	11月27日(日)	ピ ア ノ（いかるがホール大ホール） （奈良県生駒郡斑鳩町興留10丁目6番43号）		

※予選において、申込時のご希望日に添えるよう最大限努力いたしますが、定員に達した場合はご移動をお願いする可能性もございます。その場合は事務局より該当者に個別にご連絡致します。

参加資格

プロの演奏家を志す若手対象

【ピアノ部門 ・ヴァイオリン部門】　1992年1月1日以降に出生した者
【声楽部門】　大学生／大学卒業～1987年1月1日以降に出生した者

※現役音大生院生ディプロマ生など現在音大等に在籍中の者はプロフェッショナルステージへエントリーするものとする。

※声楽高校生は一般ステージ 高校生部門へエントリーするものとする。

参加部門及び参加料(税込)

＊ピアノ部門

予選	予選参加費	本選	本選参加費
課題曲	25,000円	規定を満たす20分以内の自由プログラム	28,000 円

＊ヴァイオリン部門

予選	予選参加費	本選	本選参加費
課題曲	25,000円	課題曲を含め20分以内の自由プログラム	28,000 円

＊声楽部門

予選	予選参加費	本選	本選参加費
自由曲 7 分以内	25,000 円	9分以内の自由プログラム	28,000 円

手続きの流れ

①振込（エントリー締切日までにはお済ませ下さい）

②エントリーシート提出（郵送またはWeb）

①②は同一の日でなくても構いません。
期日までにお済ませ下さい。

ご案内は、Web申込の方はメールで、郵送申込の方は郵送で、開催日2週間前までにお送りさせて頂きますが、書類到着の通知は致しません。確認は各自簡易書留等でお願いします。

コンクールの流れ

プロフェッショナルステージ

◎予選 課題 (声楽は課題なし)

いずれかの会場予選
・結果は即日発表または郵送発表
・予選では順位は公開しません

↓

◎本選 課題を含めた自由プログラム(声楽は課題なし)
会場審査

課題一覧

ピアノ	■予選 平均律1曲 ショパン、リスト、ドビュッシー、 スクリャービン、ラフマニノフ、 プロコフィエフ のエチュードから1曲 ・平均律、エチュードの順で演奏のこと	■本選 以下の作曲家の中から 20分以内の自由曲（複数曲でも可） バッハ、スカルラッティ、ハイドン、 モーツァルト、ベートーヴェン、 シューベルト、メンデルスゾーン、 シューマン、ショパン、リスト、ブラームス、 フォーレ、ドビュッシー、スクリャービン、 ラフマニノフ、ラヴェル、バルトーク、 ストラビンスキー、プロコフィエフ、 ショスタコーヴィッチ、メシアン ・繰り返し自由 ・楽章抜粋不可 （楽章抜粋及び変奏曲の一部を演奏することは不可 組曲からの抜粋は可） ・同一の作曲家から複数曲可 ただし予選で選択した作曲家以外の 作曲家から選択のこと(バッハのみ重複可) ・規定の時間を超えた場合はカットする場合がある
ヴァイオリン	■予選 課題 J.S.BACH 無伴奏ソナタ第2番 イ短調 BWV1003 より J.S.Bach: Sonata for Violin Solo No. 2 in A Minor, ①アンダンテ Anadante (前半繰り返し有り、後半繰り返し無し) ②アレグロ Allegro (前半繰り返し有り、後半繰り返し無し)	■本選 ①課題 J.S.BACH 無伴奏ソナタ第2番 イ短調 BWV1003 より J.S.Bach: Sonata for Violin Solo No. 2 in A Minor, ①グラーヴェ Grave ②自由曲（複数曲可） ・課題曲自由曲の順で演奏 ・課題曲自由曲を含めた20分以内のプログラム ・20分を超える場合はカット可 ・本選申込時カット箇所を記した楽譜送付のこと ・規定の時間を超えた場合は失格となる場合がある

声楽は予選・本選ともに課題なし（自由曲）

【重要】

プロフェッショナルステージ本選出場者は、本選エントリー時に事務局へ本選自由曲楽譜（ヴァイオリン・声楽は伴奏譜）コピー1部提出のこと。（サイズA4・製本不要）

期日までに提出のない場合は失格となります。

褒賞

◎プロフェッショナルステージグランプリ

賞金10万円、マイセン記念品・賞状

◎グランプリ以外の部門1位 ➡ 賞金5万円
◎各部門1位2位3位➡賞状、記念品
◎ディプロマ賞 ➡ 賞状

＊以下プロフェッショナル・一般ステージ全体より
◎月刊ショパン賞(株式会社ハンナ様/ピアノ対象)　副賞として音楽誌１年間プレゼント
◎ハンナ賞(株式会社ハンナ様/声楽対象)　副賞としてポーランド声楽曲選集全５巻プレゼント
◎聴衆賞➡賞状
◎優秀共演者賞➡賞状・賞金3万円（アンサンブルでのピアノパートを特に音楽的に演奏したピアニスト若干名に授与）
◎総務大臣賞、奈良県知事賞、大阪府知事賞、京都府知事賞、兵庫県知事賞、奈良市長賞、斑鳩町長賞、大阪市長賞、
京都市長賞、神戸市長賞、葛飾区長賞、名古屋市長賞、奈良県教育委員会教育長賞、奈良市教育長賞、斑鳩町教育長賞、
京都府教育委員会教育長賞、京都市教育長賞、神戸市教育長賞、葛飾区教育委員会教育長賞、名古屋市教育委員会賞、奈良新聞社賞
（該当者がない場合は授与しない）

◎ソロリサイタル賞➡ 2023年7月頃ソロリサイタル推薦（チケット負担なし）

◎2023年３月予定 篠崎史紀先生による室内楽セミナー推薦
『楽興の時～室内楽 セミナー＆演奏会～(in福岡)』推薦・受講料7万円全額助成（交通費・宿泊費は自費）(ヴァイオリン1名)

◎日本センチュリー交響楽団メンバーとの室内楽コンサート（チケット負担なし）出演推薦
(2023年5～6月奈良で開催予定、前日リハーサルはセンチュリー練習場を予定)

◎島村楽器グランフロント大阪店でのコンサート推薦

◎ムジークフェストなら、春日大社等での社寺コンサートほか各種コンサートへの推薦

※各部門上位受賞者 (1 位から 3 位) と審査員または理事会推薦を受けた方は、2023年2月開催予定の受賞者披露演奏会への出演資格が得られます。(チケット負担あり、ただしグランプリはご招待)

篠崎史紀先生による楽興の時～室内楽セミナー＆演奏会～推薦について

2023年3月頃開催の篠崎史紀先生による 楽興の時～室内楽セミナー＆演奏会～に推薦致します。
受講料7万円全額助成（交通費・宿泊費は自費）
【会場】福岡
【対象】ヴァイオリン1名
＊オーディション費用 2,000円(予選通過後の本選申込時にお振込下さい。)
希望者は篠崎史紀先生による楽興の時～室内楽セミナー&演奏会希望欄にチェックして下さい。

日本センチュリー交響楽団メンバーとの室内楽共演について

日本センチュリー交響楽団メンバーとの室内楽コンサートに出演推薦致します。
【日時】2023年5～6月頃を予定
【会場】関西で開催予定 （前日リハーサルはセンチュリー練習場を予定）
【対象】プロフェッショナルステージ
＊オーディション費用 2,000円(予選通過後の本選申込時にお振込下さい。)
希望者は申込書日本センチュリー交響楽団メンバーとの室内楽共演希望欄にチェックして下さい。
＊チケット負担なし

ソロリサイタルオーディションについて

☆選抜者は2023年開催コンクール主催ソロリサイタル演奏会にご出演頂くことができます。
【時期】2023年7月頃予定【ホール】関西を予定
2016年カワイ梅田ジュエ／2017年三木楽器開成館／2018年カワイ梅田ジュエ／
2019年カワイ梅田ジュエ／2021年カワイ梅田ジュエ／2022年カワイ梅田ジュエ
【対象】1名
＊オーディション費用 2,000円(予選通過後の本選申込時にお振込下さい。)
希望者はソロリサイタルオーディション欄にチェックして下さい。
＊チケット負担なし

オーディション料2,000円は予選通過後の本選お申込み時に本選費用とともにお振込下さい。
篠崎史紀先生による楽興の時・室内楽共演・リサイタル いくつご希望頂いた場合でも
オーディション料は2,000円です。
希望者の中から選抜し（通常の審査と兼ねて審査致します。）個別出演交渉をさせて頂きます。
（選抜されご都合によりご出演不可の場合はその旨交渉時にお伝え下さい。交渉権は次点の方に移ります。）
公式発表は出演者の発表となり、落選者へ個別連絡は致しません。

注意事項

※演奏順はエントリー順とは関係ございません。余裕を持ってお申込下さい。

※プロフェッショナルステージはプロの演奏家を志す若手を対象とします。ピアノ、ヴァイオリン、声楽現役音大生等はプロフェッショナルステージに、声楽高校生は一般高校生部門にエントリー下さい。一般ステージには現役音大生等はご参加頂けませんのでご注意下さい。
（プロの演奏家を志す方を除く音大等卒業生は一般ステージ一般最上級部門へエントリー可）

※音楽専門学校生やディプロマ生は音大生と見なします。

※現役音大生等であっても、大学での専攻以外の器楽・声楽にご出場される場合は一般ステージにご参加頂けます。

※ピアノ・ヴァイオリン高校生はプロフェッショナルステージにエントリー可。
（声楽高校生を除く）

※部門選択、選曲につきまして、お申込後理事会で検討結果やむを得ずご変更頂く場合がございますので、ご了承下さい。

※プロフェッショナルステージは暗譜して下さい。

※自作曲など公に出版されていない曲は不可とします。

※教育大学専修教育養成につきましては音大と見なさず一般ステージの参加が可能です。
（特例として大阪教育大学芸術専攻等は音大とみなします。）

※演奏を開始してから審査時間の計測を開始します。審査時間は各部門により異なりますので、ご確認下さい。

※声楽は原語に限ります。

※Web申込の際の振込受領証提出、エントリーシート郵送は不要です。

※お申込後の変更は受付致しかねますので、ご注意下さい。申込は締切日までの消印のあるものまで有効とします。それ以後は無効となりますのでご注意下さい。

※期日までに、参加料のお振込(手数料は各自ご負担下さい。)必要書類提出をお願い致します。必ず不備のないよう、チェックシートでご確認下さい。

※ご入金の確認が取れない場合はご参加いただけませんのでご注意下さい。

※提出された書類は返却できません。

※お振込後のご返金は、いかなる場合も致しかねますのでご了承願います。
（新型コロナウイルスの影響によりやむを得ず中止の場合、一旦お振込頂いたエントリー料はご返金致します。）

※ご案内は、Web申込の方はメールで、郵送申込の方は郵送で、開催日2週間前までにお送りさせて頂きますが、書類到着の通知は致しません。確認は各自簡易書留等でお願いします。

※審査結果のお問合せには一切応じられません。

※参加者及び指導者個人情報は、一般社団法人あおによし音楽コンクール奈良にて厳重に管理し、コンクール・演奏会その他コンクールに関わるご案内にのみ使用させて頂きます。

※コンクール・演奏会・懇親会における演奏、放送、録音、録画、写真制作やそれに基づく広報、販売権利は、一般社団法人あおによし音楽コンクール奈良に帰属し、参加者は金銭的要求をすることはできません。

※ピアノ蓋は統一と致します。(ピアノ・ヴァイオリンは全開、声楽は半開)

※交通事情、天災、ウイルスなどによる当日の演奏時刻や演奏順変更、中止についての判断は、事務局の裁量と致します。

※会場内の写真撮影・録画・録音はご遠慮下さい。

※音出し、更衣は、決められた楽屋をご利用下さい。当日受付にてご案内させて頂きます。スタッフの指示に従って下さい。
新型コロナウィルスの対策として第9回はリハーサル室が使用できない可能性がございますので、予めご了承願います。

※ピアノは442ヘルツにて調律されております。

※遅刻は認められませんので、ご注意下さい。

※入賞の学校報告ご希望の方は、本選審査当日シールつき長形3号封筒に84円切手を貼り、学校名(〇立から明記)と住所を明記し受付にご提出下さい。

※当コンクール出場の旅費・宿泊費その他の費用は各自ご負担下さい。

※コンクール会場内での楽器、お手荷物の管理は各自で責任を持って行って下さい。当コンクールでは責任を負いかねますのでご注意下さい。

※1位から3位と理事会により推薦した方の受賞者披露演奏会は、2023年2月頃に開催を予定しています。賞状授与、記念品贈呈はこの日に行う予定です。
新型コロナウイルスの影響により変更の可能性あり

※伴奏者はご同伴願います。やむを得ない理由で公式伴奏者紹介をご希望の方は事務局までご相談下さい。伴奏者との事前打ち合わせ交渉などは直接お願い致します。なお公式伴奏者紹介による審査結果につきましては、事務局は一切の責任を負いかねますので極力伴奏者はご同伴願います。万一キャンセルをされた場合は、キャンセル料が発生しますのでご注意下さい。
（開催日1か月以上前までは半額、開催日1か月未満は全額）

※新型コロナウィルス感染防止対策を徹底し実施を予定していますが、スタッフの案内に従い舞台上以外でのマスク着用、検温や消毒などご協力をよろしくお願い致します。

2022年 審査員一覧（50音順）

《統括審査委員長》渡 辺　健 二

【ピアノ】

《ピアノ審査委員長》 渡 辺　健 二	名古屋市立菊里高校音楽課程卒業後、東京藝術大学、同大学院修了。 （財）カワイサウンド技術・音楽振興財団理事、日本ピアノ教育連盟副会長・常務理事、日本ソルフェージュ研究協議会会長、日本音楽芸術マネジメント学会副理事長。河合楽器製作所技術顧問。藝大ジュニア・アカデミーで指導に当たっている。北海道大学非常勤講師、東京藝術大学名誉教授。
新 居　由佳梨	東京藝術大学、同大学大学院を経て、スイス国立ジュネーヴ音楽院修了。 シャネル(株)「Pygmalion Days」シリーズアーティスト。(一財)地域創造「公共ホール音楽活性化支援事業」、及びソニー音楽財団「こどものためクラシック」登録アーティスト。スタインウェイ･アーティスト。
入 江　一 雄	東京芸術大学同大学院を首席卒業・修了後、チャイコフスキー記念ロシア国立モスクワ音楽院研究科を修了しディプロマ取得。 現在、桐朋学園大学及び昭和音楽大学ピアノ科非常勤講師。銀座王子ホールレジデンス「ステラ・トリオ」メンバー。
岡 田　将	桐朋女子高等学校音楽科（男女共学）を首席卒業し、オーストリア国立ザルツブルク・モーツァルテウム音楽院に留学。続いて95年ベルリン国立芸術大学に留学し研鑽を積んだ。 神戸女学院大学准教授。
兼 重　直 文	東京芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻卒業。 現在、三重大学名誉教授・特任教授。金城学院大学非常勤講師。日本ショパン協会会員および同協会中部支部長。日本音楽表現学会、日本ピアノ教育連盟、日本演奏連盟各会員。全日本ピアノ指導者協会正会員。
河 内　仁 志	兵庫県立西宮高等学校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部卒業。Ecole Normale musique de Parisにて研鑽を積む。 兵庫県立西宮高等学校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部非常勤講師。神戸市混声合唱団専属ピアニスト。OTOYAエンターテイメント所属。
北 端　祥 人	京都市立芸術大学、同大学院を首席で修了後渡独し、ベルリン芸術大学修士課程ソリスト科を経て、同大学室内楽科を修了。 2020年度より東京藝術大学附属音楽高等学校の非常勤講師として後進の指導にあたっている。
小 澤　佳 永	名古屋市立菊里高等学校音楽科、東京芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を経て同大学大学院修士課程ピアノ専攻修了。 現在同大学管打楽科演奏研究員。
小 蔦　寛 二	東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻、同大学院修士課程を修了。ドイツに5年間留学、ハノーファー音楽演劇大学、カッセル市立音楽院、ベルリン芸術大学大学院を修了。 エリザベト音楽大学、広島文化学園大学、安田女子大学講師。
重 野　友 歌	メニューイン音楽院を経て英国王立音楽大学に全額特待生で入学。首席で卒業した後ドイツに移り、ハンブルグ国立音楽演劇大学で大学院修士と国家演奏家資格をどちらも最優等で取得。2018年よりアメリカ、マイアミ大学フロスト音楽学校にてケヴィン・ケナーの下、博士課程に在籍。全日本ピアノ指導者協会演奏会員。エリザベト音楽大学非常勤講師。
鈴 木　謙 一 郎	桐朋学園大学音楽学部ピアノ科を首席で卒業。同大学研究科入学。98年文化庁海外派遣研修生として渡仏。フランス・トゥールーズ音楽院入学。 現在、愛知県立芸術大学音楽学部教授、名古屋音楽大学客員准教授。
関 本　昌 平	桐朋女子高校音楽科（共学）卒業後、2005年エコール・ノルマル音楽院卒業（ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生）。2006年～2008年桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースに在席。名古屋市立菊里高校、愛知県立明和高等学校非常勤講師、名古屋音楽大学特任准教授。
中 尾　純	東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大音楽学部器楽科ピアノ専攻を首席で卒業。同大学院修士課程修了後ドイツに渡り、ハンブルク音楽演劇大学大学院を最優秀の成績で修了。その後もザルツブルク・モーツァルテウムにて研鑽を積む。現在、愛知県立芸術大学音楽学部准教授、金城学院大学音楽芸術学科非常勤講師。
中 谷　政 文	東京藝術大学音楽学部附属音楽高等高校を経て、東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻を卒業。インディアナ州立大学ジェイコブズ音楽学部修士課程、マイアミ大学フロスト音楽学部博士課程に所属し、ティーチングアシスタントを務め、論文「The Effect of the Developing Variation Technique on Brahms' Early Piano Solo Works in the Form of Theme and Variations」において博士号を取得し卒業。現在、エリザベト音楽大学演奏学科ピアノ専攻専任講師。
松 下　寛 子	名古屋市立菊里高校音楽科卒業、愛知県立芸術大学音楽学部卒業、同大学院を首席修了。99年に国際ロータリー財団奨学生として渡独、2002年ドイツ国立ケルン音楽大学を最優秀で卒業。現在、 名古屋音楽大学、奈良県立高円芸術高等学校音楽科各非常勤講師。ソニーCSLピアノアカデミーアシスタント講師。
山 中　歩 夢	東京芸術大学卒業、同大学大学院修士課程を修了。リスト音楽院(ハンガリー)ソリスト課程を修了。 2020年度より東京芸術大学ピアノ科非常勤講師を務めるなど、後進の指導にもあたっている。
山 畑　誠	兵庫県立西宮高等学校音楽科を経て、東京芸術大学を卒業。その後ドイツへ渡り、ワイマール・リスト音楽大学卒業、ドレスデン国立音楽大学大学院修了（国家演奏家資格試験合格）。さらに、スイスにてチューリッヒ音楽大学大学院修了。現在、大阪教育大学准教授、神戸女学院大学非常勤講師。
山 内　鈴 子	神戸女学院大学音楽学部卒、洗足学園大学音楽学部マスタークラス修了。 現在、神戸女学院大学講師、元大阪芸術大学講師。日本演奏連盟、宝塚演奏家連盟（現会長）、日本ピアノ教育連盟、リスト協会各会員、元宝塚市文化財団評議員。

【弦楽器】

《弦楽器審査委員長》 漆 原　啓 子 (ヴァイオリン)	東京藝術大学付属高校、東京藝術大学卒業。現在、国立音楽大学客員教授、桐朋学園大学特任教授。
Mauro Iurato (ヴァイオリン)	ジュゼッペ・ベルディ国立音楽院卒業、ウィーン国立音楽大学入学、同大学のプロジェクトに従い来日、徳島文理大学音楽学部客員准教授に着任。相愛大学音楽部、兵庫県立西宮高等学校講師。 ハルモニアKOBE(株)代表、『HARMONIA KOBE（ヴァイオリンスクール）』主宰。
岩 谷　祐 之 (ヴァイオリン)	東京音楽大学附属高校にて本格的にヴァイオリニストとして研鑽を積み、1997年よりアメリカへ留学2001年よりフランスへ留学。 関西フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター、TOKI弦楽四重奏団1stヴァイオリン奏者。
岩 谷　悠 子 (ヴァイオリン)	桐朋学園高校卒業。フルブライト留学生として渡米、ジュリアード音楽院ヴァイオリン部門を首席で卒業。 現在、天理教音楽研究会弦楽教室講師、天理市音楽芸術協会顧問、奈良県音楽芸術協会特別会員。
植 村 菜 穂 (ヴァイオリン)	桐朋学園ソリストディプロマコース修了。文化庁芸術家在外研修員としてウィーン国立音楽大学で研修。ロームミュージックファウンデーション、明治安田文化財団より助成を受ける。　桐朋学園大学附属子供のための音楽教室・京都、仙川教室、ヴァイオリン・弦楽合奏講師。アンサンブルコルディエ(旧東京ゾリステン)メンバー。
甲 斐　摩 耶 (ヴァイオリン)	東京藝術大学音楽学部付属音楽高校、東京藝術大学を経て、'02 年同大学院修了。 現在エリザベト音楽大学准教授。
川 岡　光 一 （チェロ）	桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)を経て2013年桐朋学園大学チェロ科を卒業。現在、ギタリスト上垣内寿光氏とのデュオ『Duo Geiz』（デュオ・ガイツ）、ピアニスト小鳶寛二氏と『Duo Kreta』（デュオ・クレタ）の活動他。(株)クライスエムイー所属アーティスト。同音楽教室チェロ科、エレキベース科、エレキギター科各講師。
木 田　雅 子 (ヴァイオリン)	大阪音楽大学付属音楽高校、大阪音楽大学卒業。同大学院修了。 大阪音楽大学特任教授、日本弦楽指導者協会会員。
蔵 川　瑠 美 (ヴァイオリン)	東京藝術大学附属音楽高校、東京藝術大学卒業、同大学院入学。公益財団法人アフィニス文化財団による海外研修員としてドイツ・ライプツィッヒに留学。 広島交響楽団コンサートマスター。
小 玉　裕 美 (ヴァイオリン)	東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京芸術大学音楽学部器楽科を卒業。同大学大学院修士課程音楽研究科修了。 在学中に渡独しドイツ国立ハノーファー音楽演劇大学修士課程を最高点で修了。 名古屋フィルハーモニー交響曲楽団ヴァイオリン奏者。
小 林　壱 成 (ヴァイオリン)	東京藝術大学大学院を修了し、ベルリン芸術大学大学院に在学。 銀座王子ホールのレジデント「ステラ・トリオ」メンバー、東京交響楽団コンサートマスター。
塩 貝　みつる (ヴァイオリン)	桐朋学園大学ソリストディプロマ修了。ハンブルク州立フィルハーモニー管弦楽団及び、ハンブルク州立歌劇場のアソシエートコンサートミストレスとして12年間在籍。ハンブルクトリオのメンバー。現在日本とドイツでゲストコンサートミストレス、ソリスト、室内楽奏者で活躍。
白 井　篤 (ヴァイオリン)	国立音楽大学付属音楽高校を経て、桐朋学園大学卒業。２００３年、アフィニス文化財団海外研修員としてウィーンへ留学。現在、クァルテット・リゾナンツァ 1st violin、室内オーケストラ「ＡＲＣＵＳ」メンバー、ＮＰＯ法人「ハマのＪＡＣＫ」副理事。国立音楽大学および付属中学・高校非常勤講師。ＮＨＫ交響楽団２ndヴァイオリン・次席奏者。
須 山　暢 大 (ヴァイオリン)	都立芸術高校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。 大阪フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスター。
戸 田　弥 生 (ヴァイオリン)	1993年エリザベート王妃国際音楽コンクール優勝以来、日本を代表するヴァイオリニストの一人として、圧倒的な集中力による情熱的な演奏で聴く者を魅了している。現在フェリス女学院大学音楽学部演奏学科教授、桐朋学園大学音楽学部非常勤講師。
長 谷 川　夕 子 (ヴァイオリン)	相愛大学音楽部を経て広島交響楽団に入団。 オーケストラ活動の他、室内楽、ソロ等、多方面での活動をする。
日 比　浩 一 (ヴァイオリン)	京都市立芸術大学音楽学部卒業、同時に音楽学部賞を受賞。 現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター。名古屋芸術大学教授、大阪音楽大学特任教授、大阪樟蔭女子大学客員教授。
安 野　英 之 (チェロ)	京都市立芸術大学音楽学部卒業後、同大学大学院修士課程修了。 天理シティーオーケストラ常任指揮者、天理教音楽研究会講師、奈良県立高円高等学校音楽科非常勤講師、天理市音楽芸術協会理事。

【声楽】

《声楽審査委員長》 浜田　理恵 (ソプラノ)	東京藝術大学卒業、同大学院修了。フランス政府給費生としてパリに留学。 2019年から2021年まで東京藝術大学准教授。お茶の水女子大非常勤講師。
荒田　祐子 (メゾ・ソプラノ)	神戸女学院大学音楽学部卒業、研究生修了。1983年文化庁芸術家在外派遣研究員として渡伊。 現在、関西歌劇団理事 、日本シューベルト協会会員。兵庫県音楽活動推進会議所属。大阪音楽大学教授、神戸山手女子高等学校音楽科講師。
老田　裕子 (ソプラノ)	大阪音楽大学大学院歌曲研究室修了。 現在、同志社女子大学、武庫川女子大学、大阪音楽大学、神戸山手女子高等学校非常勤講師。関西二期会、神戸音楽家協会、神戸波の会、日本ドイツリート協会、兵庫県音楽活動推進会議各会員。
大山　大輔 (バリトン)	東京藝術大学首席卒業。同大学院修士課程オペラ科修了。 カクシンハン・スタジオ（演劇研修所）講師。洗足学園音楽大学ミュージカルコース・声楽コース講師。
上江　隼人 (バリトン)	東京芸術大学大学院首席修了。 藤原歌劇団団員。
折河　宏治 (バリトン)	国立音楽大学卒業。 同大学大学院修了。ウィーンで研鑽を積む。 エリザベト音楽大学准教授。
河口　愛幸 (ソプラノ)	国立音楽大学声楽学科で学ぶ。東欧屈指のブルガリア国立ソフィアフィルハーモニー管弦楽団と共演しディプロマを授与される。 現在 岡山演奏家協会会員、日本イタリア協会会員、東京国際芸術協会会員、国際芸術連盟会員。
小濱　妙美 (ソプラノ)	東京藝術大学卒業、同大学院修了。スイス政府給費生としてチューリッヒに留学。文化庁在外研修員としてミラノに留学。 現在、京都市立芸術大学教授。藤原歌劇団団員。
小林　史子 (ソプラノ)	松坂女子高校音楽科卒業。愛知県立芸術大学声楽科卒業、同大学院修了。 現在、名古屋音楽大学特任教授、金城学院大学、三重大学非常勤講師。名古屋市民コーラスヴォイストレーナー、NHK文化センター講師。ABCアカデミー主催。
小林　良子 (ソプラノ)	エリザベト音楽大学声楽学科卒業、同大学大学院修士課程修了。ロータリー財団国際親善奨学生としてウィーンへ留学、プライナー音楽院リート・オラトリオ科にてDiplom取得。ウィーン国立音楽大学研究課程リート・オラトリオ科修了。 エリザベト音楽大学専任講師。
斉藤　言子 (ソプラノ)	神戸女学院大学音楽学部卒業、同研究生修了、ミラノヴェルディ音楽院、南カリフォルニア大学（客員研究員）で学ぶ。 現在、神戸女学院大学名誉教授・前学長、関西二期会副理事長、神戸大学経営協議会理事。
清水　徹太郎 (テノール)	京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。 兵庫県音楽活動推進会議委員。びわ湖ホール声楽アンサンブルソロ登録メンバー、«びわ湖ホール四大テノール»メンバーとして活動中。京都市立芸術大学、大阪音楽大学、滋賀大学、各講師として後進の指導にもあたっている。
田中　純子 (ソプラノ)	洗足学園音楽大学卒業、同専攻科修了、同マスタークラス修了。洗足学園より給費を受け渡独、シュトゥットガルト国立音楽大学大学院声楽科及びリート科修了。洗足学園音楽大学名誉教授。横浜シティオペラ副理事長　日本チェコ音楽協会理事　日本オペラ協会会員、日本演奏連盟会員。
谷　浩一郎 (テノール)	ドイツ国立マンハイム音楽大学卒業。 サントリー1万人の第九指導者。大阪音楽大学演奏員。関西歌劇団理事。音楽創作工房ムジカヴィーヴァ、関西歌劇団オペラ教室、神戸市民文化振興財団、同志社女子大学各講師。
永井　和子 (メゾ・ソプラノ)	国立音楽大学卒業。同大学大学院修了。二期会オペラスタジオ研究生修了。文化庁オペラ研修所修了。文部科学省在外派遣研究員としてジュネーブにて研鑽。 東京藝術大学教授。常葉大学短期大学部客員教授。新国立劇場オペラ研修所長。二期会会員。日本演奏連盟会員。
二宮　咲子 (ソプラノ)	国立音楽大学声楽科卒業。 現在、同朋高等学校音楽科非常勤講師。
甚目　裕夫 (プロデューサー)	国立音楽大学、同大学院修了。イタリアでのコンクール、フェスティバルなどの委員を長年に渡り歴任。プロデューサーとしてイタリアを中心とする往年の著名なオペラ歌手とピアニストとして共演を元に、国際的な視点で、独創的なオペラ企画、コンサートプロデュースを行う。早稲田大学国際教養学部非常勤講師として､Opera : History and its development /Practical course and workshop を担当。
晴　雅彦 (バリトン)	大阪音楽大学音楽学部声楽学科声楽専攻卒業。文化庁派遣芸術家在外研修員としてドイツ・ベルリンに留学。 日本演奏連盟会員。すばるホール・アドバイザー。大阪音楽大学教授。
福住　恭子 (ソプラノ)	大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。イタリアに留学。 日本、イタリアで数々のオペラに出演、宗教曲・合唱曲のソリストも務める。
藤原　藍子 (ピアニスト)	桐朋学園大学音楽学部ピアノ専攻卒業。文化庁新進芸術家海外留学制度研修員としてイタリア・ミラノに留学し、コレペティトゥールの研鑽を積む。 藤原歌劇団団員でもあり、近年は自身のプロジェクトで著名な歌手達のまとめ役として存在感を増している。

桝　貴志 (バリトン)	大阪音楽大学声楽科を卒業。新国立劇場オペラ研修所第5期生修了。平成23年度 五島記念文化新人賞受賞しニューヨークで研修。ボローニャ国立音楽院に留学。 日本演奏連盟会員、二期会会員。
迎　肇聡 (バリトン)	大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。その後ドイツに留学。 びわ湖ホール声楽アンサンブル専属ソロ登録メンバー。大阪音楽大学講師。
森　雅史 (バス)	国立音楽大学卒業。東京芸術大学大学院修了。新国立劇場オペラ研修所修了。文化庁派遣芸術家在外研修員としてミラノに留学し、その後、ボローニャ歌劇場付属オペラ研修所に在籍。ローム・ミュージック・ファンデーション研究生として助成を受ける。二期会会員。現在、名古屋音楽大学准教授。
湯浅　契 (ソプラノ)	大阪音楽大学声楽科卒業、同大学院オペラ科修了。 園田学園女子短期大学、高円高校音楽科各講師。(特非)関西芸術振興会・関西歌劇団理事長、関西歌曲研究会会員。

公式伴奏者

高野 良輔

京都市立芸術大学卒業、ウィーン私立音楽院大学大学院首席修了。
現在交野女声合唱団、交野女声ひびき、コール・ヴィオレッテ、童謡・唱歌を歌う会各ピアニスト。
ミュージックスクールNoteピアノ・ソルフェージュ科講師。

林 典子

神戸女学院大学音楽学部卒業、同専攻科修了。ドイツ国立ヴュルツブルグ音楽大学大学院に留学、コンツェルトディプロムを取得。
現在大阪青山大学非常勤講師、神戸音楽家協会会員。

《コンクール参加費振込先・申込先》

Aoniyoshi Music Competition Nara

ゆうちょ銀行
[ゆうちょ銀行から]【記号】14540【番号】24585761
[他行から]【店名】四五八(ヨンゴハチ)【店番】458
【預金種目】普通預金【口座番号】2458576
口座名:一般社団法人あおによし音楽コンクール奈良

＜送付先＞〒636-0153
奈良県生駒郡斑鳩町龍田南 3-3-38 竜田郵便局留め
一般社団法人あおによし音楽コンクール奈良事務局

Tel：0745-47-1069 / 080-9129-9265　　Web：www.aoniyoshimc.com
Mail：info@aoniyoshimc.com　　FB：www.facebook.com/aoniyoshimc

※ご利用明細(コピー可)を同封の上、申込書を事務局までお送り下さい。(Web申込は、申込書・振込証明書郵送不要)
※新型コロナウイルスの影響によりやむを得ず中止の場合、一旦お振込頂いたエントリー料はご返金致します。

(予選申込時に提出するもの)　※Web からもエントリー頂けます。

□申込用紙・・・記入漏れはありませんか？コピーしてお控え下さい。
□振込受領証またはご利用明細票 (コピー可)　※Web申込の方は不要
□返信用封筒・・・94円切手を貼ったシールつき長形3号に、住所・氏名を明記して下さい。
※Web申込の方は不要